

平成 23 年度事業計画書案

I. 事業計画

1. 理事会・評議員会の開催

平成 23 年度 4 月及び平成 24 年 3 月に理事会及び評議員会を開催し、次の諸事項を審議・決定する。

- 1) 収支決算（貸借対照表、財産目録、事業報告、財産増減計算書含む）の承認
- 2) 次年度の年度事業計画案及び予算案の承認

2. 海洋科学の教育並びに研究の援助として大学行事支援事業、学生指導・厚生事業、教育研究活動支援事業を、海洋科学における国際交流の援助として国際学術交流支援事業を、地域社会の教育文化の向上への貢献として学術講演会等開催事業、学生の地域交流活動支援事業、学生表彰を行うとともに、東京海洋大学海洋科学部と学生の保護者との連絡協調として財団広報事業を実施する。

公益法人の見直しの実施に向けた施策を行なう

3. 主な事業

1) 大学行事支援事業

- (1) 大学祭実施経費の補助
- (2) 卒業・修了行事に要する経費の援助（楽水会との共催）
- (3) 学生の就職活動指導への援助
- (4) 保護者説明会の共催
- (5) その他大学が主催する行事への援助

2) 学生指導・厚生事業

学生支援教員等が行うオリエンテーション及び履修ガイダンス等に要する経費の援助

3) 教育研究活動支援事業

海洋科学の教育、研究活動の援助

4) 国際学術交流支援事業

- (1) 国際交流にかかわる学生生活活動の援助
- (2) 国際学術交流のための旅費、研究費等の援助

5) 学術講演会等開催事業

地域、社会に開かれた講演会・シンポジウム等の開催及び共催

6) 学生の地域交流活動支援事業

- (1) 地域に開かれた学生生活活動の援助
- (2) 海洋科学にかかわる学生生活活動の支援
- (3) その他課外活動関係事業に対する援助

7) 学生表彰

社会に貢献した学生および対外的に成果を上げた学生の表彰等

8) 財団広報事業

財団広報誌「東京海洋大学海洋科学教育学術支援だより Vol. 12」の発行およびホームページの維持管理

II. 収支予算案

1. 収入の部

拠出金収入は一時減少傾向にあったが、平成20年度にかけて増加し、過去の平均収入額を上回った。しかし、平成21年度以降の拠出金収入は大幅に減少している。基本財産運用収入については、基本財産として保有している国債が満期となり、利率も低減していることから、今後とも運用収入は減少していくことが予想される。

2. 支出の部

平成22年度予算額を基準とし、寄付行為に記載されている事業内容に従って予算額を計上した。平成22年度現在の内部留保水準は高く推移しているが、拠出金収入が減少しているために、今年度の予算は23年度より下記のとおり一部減額するとともに、平成22年度と同様に、目的積立金として将来の国際学術支援基金として100万円の積み立てを行なう。

平成22年度予算額と同額： 教育研究活動支援費、国際学術交流支援費、学生の地域交流支援費、学生表彰費、財団広報支援費、慶弔費

減額：	大学行事援助費	1,400,000円から	1,300,000円に減額
	学生指導・厚生費	600,000円から	500,000円に減額
	学術講演会等開催費	600,000円から	500,000円に減額
	事業費合計	4,680,000円から	4,380,000円に減額
増額：	会議費	20,000円から	50,000円に増額

3. 基本財産への振替額

基本財産への振替は行わない。